



かなぎ

私たちも、踊れるよ。
おばあちゃん、じょうずでしょ！



サーサ これから奴踊り おどる
ソラ ヨヤナガ サッサ

11月20日、嘉瀬小体育館で行われた奴踊りチャンピオン大会応援団。

町の花



さくら

町の鳥



ひばり

町の木



ひは

金木町町村合併

五十周年記念植樹祭



金木町、嘉瀬村、喜良市村が昭和三十年三月一日に合併してから、来春で五十年を迎えるにあたって十一月十二日、鳴海町長ら関係者による記念植樹が芦野公園内で行われました。

記念植樹祭セレモニーで鳴海町長は「未来の金木が緑と花に包まれた素晴らしい環境の中、優美で力強い郷土の発展を祈念します」とあいさつを述べた後、津軽森林管理署岡崎孝次金木支署長、町行政協力委員や嘉瀬・喜良市小学校緑の少年団、町関係者など約百名が芦野公園内三カ所に分かれて、桜（ソメイヨシノ）の苗木五十本を記念植樹しました。

その後、芦野公園フロントゲート（駐車場）内の花壇に、ヒバ材使用の記念碑が建立されました。

記念植樹祭に参加した嘉瀬小学校五年の平川怜くんは「とてもいい記念になりました。大人になったらこの場所で見たい。」と楽しそうに話してくれました。



記念植樹する緑の少年団と先生

吹奏楽や大合唱で 音楽発表会

今年で十一回目を迎えた金木町音楽発表会が十一月十一日、金木小学校体育館で開催され、幼稚園児や小・中・高校の児童生徒が合唱や吹奏楽など、日頃の練習の成果を披露しました。

金木幼稚園年長組四十二名による鼓笛演奏『聖者の行進』で始まり、嘉瀬小学校一・二年生四十名の合唱『月のつばやき』など十七演目を熱演しました。

児童生徒総勢二百五十人余りによる全体合唱『夢の世界を』や川倉小・喜良市小・金木中・金木南中の児童生徒五十三名の津軽三味線合同演奏や金木高校十一



☆ サンバのリズムで最高潮!! ☆

名による『嘉瀬の奴踊り』の三味線演奏、見事な撥さばきを披露し、会場から大きな拍手が沸きあがっていました。

また、金木小学校三・六年生三十八名の吹奏楽演奏は、同校五・六年生が様々な応援グッズを手に持ち、サンバのリズムに乗って応援エールを送っていました。

練習の成果を披露する生徒



津軽三味線のルーツを探る!!



講演する大條和雄氏

津軽三味線会館多目的ホールで計四回開催された『津軽三味線公開講座』に多くの津軽三味線ファンが集い、津軽三味線のルーツなどについての講演や津軽三味線演奏と津軽民謡の歌声に聞き入っていました。

この公開講座は、津軽三味線日本金木大会実行委員会（委員長 今誠康）主催で八月二十二日から始まり、津軽三味線のルーツ解明者・大條和雄氏（弘前市在住）を講師に迎え、津軽三味線の元祖、仁太坊（本名秋元仁太郎・神原出身）の人生観や津軽三味線の誕生と邪道・ホイド（乞食）三味線と言われた時代の歴史背景や世界に誇れる日本が生んだ民族音楽を学ぶ必要性などを力説していました。公開講座四回ともゲスト奏者を替えて演奏テーマも違う



魂を揺さぶる 津軽三味線演奏と手踊り

奴踊り 嘉瀬小学校 チャンピオン大会



嘉瀬小学校（校長 今信夫）主催の平成十六年度第十三回嘉瀬小奴踊りチャンピオン大会が十一月二十日、同校体育館で行われ、全校児童百十四名が優勝を目指して、素晴らしい奴踊りを披露しました。この大会は、郷土の伝統芸能に対する関心を高め継承し、意欲をもたせることを目的に開催され、会場には多くの家族が集まり、熱い視線を送っていました。大会審査は、学年ごとに踊りを一回だけ披露し、その中から上位三、四名が選ばれ、決勝では、各学年から選ばれた児童を低・高学年に分けて、奴踊り保存会の生演奏の歌声

にあわせ、再度奴踊りを披露し、チャンピオンが決定されました。審査委員になった嘉瀬小奴踊り保存会会員や今校長は、日頃の練習の成果を披露する児童を真剣な眼差しで見つめながら審査していました。また、踊りを披露する児童たちを囲んだ応援席からは、家族の声援や大きな拍手で激励していました。

内容で臨んだ津軽三味線演奏は、三本の糸で奏でる力強さと激しさ、そして繊細な旋律に参加者たちは酔いしれていました。横浜市から里帰りし、偶然に講演や津軽三味線を聞いた女性の方は「とても興味深く貴重なお話と素晴らしい津軽三味線演奏が聴けてとても良かったです」と感想を述べてくれました。また、十一月二十日の最終講座は、会場いっぱい響く津軽民謡の歌声と軽快で表情豊かな手踊りに大きな拍手が沸きあがりました。

- 奴踊りチャンピオン大会結果**
- ☆低学年の部
 - チャンピオン 山中 佳子(3年) 「チャンピオンになれてよかった」
 - 準チャンピオン 松川布美江(3年) 「メダルをもらえてうれしい」
 - ☆高学年の部
 - チャンピオン 木村 綾花(6年) 「小学校最後の思い出になりました。とても嬉しいです。」
 - 準チャンピオン 小山内啓人(6年) 「準チャンピオンになれて嬉しい。良かった」



おめでとう!!良かったネ。



決勝戦で踊る子どもたち

民生・児童委員等名簿

担 当 地 区	役 職	氏 名	電話番号
金 木 地 区			
神原・蒔田		吉田 則昭	52-4076
沢部		白川 セツ	52-2659
三軒町・新富町		沢田 嘉照	52-2758
小川町・米町	理 事	棟方 亮逸	52-3532
芦野町・寺町・浦町	監 事	成田 チセ	52-5775
田町・南新町		三浦 ルイ	52-3035
本町・栄町・川端町	理 事	徳田キヨエ	52-2486
神明町・北新町	理 事	山崎惣三郎	52-3049
朝日町・朝日団地		福長 敏子	52-2594
昭和町		斉藤 忠志	52-4753
中山道町・上山道町		竹内久美子	52-4725
美晴町・下山道町		安田 武三	52-4751
見崎町・芦野団地		逢坂 昭子	52-2275
若松町		外崎 久子	52-4790
藤枝		工藤 文裕	53-2959
向道・湯の川	監 事	浅利 勝義	52-5080
林下・女坂		白川テイ子	53-2109
下宇田野・上宇田野		泉谷 岳身	52-5806
大東ヶ丘・旭ヶ丘団地・金木団地・雲雀ヶ丘団地	会 長	白川 庄治	52-3584
嘉 瀬 地 区			
下中柏木・上中柏木		原田 優子	52-4198
上新町・下新町		今 道茂	52-3486
下小栗崎・上小栗崎・中小栗崎		松川 菊代	52-3249
上派立・中派立・東町・雲雀野団地		木下 節子	52-3497
下昭和町・上昭和町・下派立		鳴海 君江	52-5291
本町・冷水・車町		内海 勝興	52-3487
畑中・後町	副会長	山中 忠	53-2992
新堤町・鍛冶町・新誠町		平川 正子	53-3550
下古町・上古町		鳴海 輝男	52-3702
喜 良 市 地 区			
川端町・下町		今 カツエ	52-5145
上柏木・下柏木		加藤 かつ	52-4813
上派立・下派立・双葉町		大橋 りつ	52-4402
北本町・南本町		岡田 芳嗣	52-3420
野崎・林町		西村トミエ	52-4328
西岩見町・東岩見町	副会長	元石 美枝	52-4614
更生部落		今 美子	52-4845
主任児童委員			
主任児童委員		高橋 節次	52-5355
主任児童委員		伊藤 さち	52-3003



◎会長のコメント

「委員の方々と協力し、知恵を出しあい地域の声を関係機関に反映させていきたい」と抱負を語る白川庄治会長

地域と行政とのパイプ役である民生・児童委員及び主任児童委員の辞令交付式が十二月二日、役場で行われ、厚生労働大臣並びに県知事から委嘱された三十七人に角田助役が辞令を交付しました。

民生・児童委員は、社会奉仕の精神をもって、常に住民の立場に立った相談に応じ、役場や福祉事務所等とのパイプ役として、助言指導する

のが主な仕事です。

また、主任児童委員は、児童福祉を専門に担当します。

民生・児童委員の職務は、個人の人格を尊重し、身上に関する秘密は厳守されていますので、地域内での困り事、日ごろの悩み事などがありましたら担当地区の委員にお気軽にご相談ください。

任期は、平成十九年十一月三十日までで辞令交付式後の組織会において白川庄治さん（大東ヶ丘）が会長に選ばれました。

地域住民と行政とパイプ役

裁判員制度 4

裁判員の仕事や役割 裁判員に選ばれたら、次のような仕事をすることになります。

1. **公判に立ち会う**……裁判員に選ばれたら、裁判官と一緒に、刑事事件の法廷（公判といいます。）に立ち会い、判決まで関与することになります。公判は、連続して開かれます。公判では、証拠書類を取り調べるほか、証人や被告人に対する質問が行われます。あなたから、証人等に質問することもできます。
2. **評議・評決**……証拠を全て調べたら、今度は、被告人が有罪か無罪か、有罪だとしたらどんな刑にするべきかを、裁判官と一緒に議論し（評議）、決定する（評決）ことになります。評決は、多数決により行われます（ただし、裁判官、裁判員のそれぞれ1名以上の賛成が必要）。有罪か無罪か、有罪の場合の刑に関するあなたの意見は、裁判官と同じ重みを持ちます。
3. **判決宣告・裁判員の任務終了**……評決内容が決まると、法廷で裁判長が判決を宣告をすることになります。あなたの裁判員としての役割は、判決の宣告により終了します。

県民文化祭の 有終の美を飾る

『太宰芸術・太宰文学讃歌』公演



朗読劇
「走れメロス」



第十四回青森県民文化祭が十一月二十一日、中央公民館で行われ、地域の子どもから大人たちが朗読劇や合唱、津軽三味線合同演奏などを発表しました。

九月から西北五地区の市町村が多彩な内容で開催し、当町が最後の発表会場となり『太宰芸術・太宰文学讃歌』公演に総勢二百二十名の出演者が表現豊かに力強く演じていました。

公演第一部の朗読劇『走れメロス』『雀コ』は、一般公募者を含めたメンバーで構成され、十月から短期間の練習で仕上げたとは思えない素晴らしい演技披露や喜良市小児童、童謡を歌う会、女声合唱団チェリーコールによる歌声に会場から大きな拍手を浴びていました。

第二部は、津軽三味線の音色が会場にやさしく響き渡る中、世界に誇れる数多くの『津軽の文化』が映像で紹介された後、リズム金木や嘉瀬の奴踊り、荒馬・太刀振りなどの演目が繰り広げられ、会場全体が感動の渦に巻き込まれていました。

今回の走れメロス主人公役の秋元拓真くん（五所工高二



『雀コ』



年）は「短い練習期間でしたが完成度が高く、とてもよかった。百点満点。」と頑張った仲間と自分自身に賛辞を送り、参加した喜びを素直に話していました。

また、雀コに出演した太田沙綾さん（金木小五年）は「とても楽しかった。機会があったら、また舞台に立ちたい。」と力強く抱負を述べました。

津軽三味線合同演奏



荒馬踊り（喜良市小）



奴踊り（嘉瀬小）